



東京の産業と教育

No. 159

会の目的

本会は産業界、教育界及び行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

東京の産業教育の変革に向けて

東京都教育庁指導部主任指導主事(産業教育担当)

平林 信彦



令和2年度は、都立学校においても、新型コロナウイルス感染症対策として長期の臨時休業から始まるなど、まさに前例のない幕開けとなりました。

専門学科高校では、様々な「実習」をオンライン等による自宅学習を行いながらどのように年間の学習に組み入れていくか、工夫が求められる一年間でした。自宅学習では、「実習」をイメージし、手順やポイント、注意事項を深く理解させ、様々な要因を紐づけて考えさせました。そして休校明けには、自宅学習でのイメージを基に実習を行い、実際に学校で手を動かし、習熟させました。これまでとは異なる「新しい学習の形」の模索は今も、これからも続きます。

新型コロナウイルス感染症対策は、産業界へも大きな影響を与えています。Society5.0に向けた人材育成を更に加速するにあたり、技術革新のスピードに対応した専門的な知識・技術の学びは必要となっています。とりわけ、これからの東京型の産業教育を考える上では以下の三つがキーとなると考えています。

第一は、首都東京の資源をどう生かすかです。特に多種多様な企業との連携の推進は、常に最新情報を得ることや先端技術を学ぶ機会、企業人として必要な資質やスキルに関する学びを安定的に得ることができます。企業の皆様には、いつも大変お世話になっておりますが、ぜひ今後ともこうした観点から御理解並びに御協力をいただけますと幸いです。

第二は、学校同士の連携・協力です。

これまで、商業高校は「商業コンソーシアム東京の推進」、工業高校は「東京版デュアル・シ

ステムの構築・実施」、農業高校は、「GAPに関する教育の推進」を実施してまいりました。また、家庭科と福祉科を併設する赤羽北桜高校は令和3年度に開校、大島海洋国際高校は令和4年度に水産科に改編予定です。産業界がジャンルを越えて連携しあう現代では、こうした学校も学科を越えて連携し、様々な教育を横断的に行っていくことが重要です。

第三は、産業教育のDXの推進です。

今後、「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」として都立学校におけるICT環境の整備が進む中、専門学科高校ではICTの活用とともに、生徒たちがITについて学習・理解し、自身の専門性と結び付けた上でこの新たな産業をどのように社会で役に立つ技術にしていけるのか考える機会を創出するなど、教育環境と共に教育内容のDXも推進していく必要があります。

こうした取組を充実させていくために、また、これからの社会を担うクリエイティブな人材の育成のために、会員皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。



工業高校が細かなニーズを基に作成した飛沫感染防止パーティーション

(東京都教職員研修センター執務室等)

会報第159号のコンテンツ

p.1; 巻頭言 p.2; 実践報告(商業高校) p.3; 実践報告(中学校) p.4; 在校生メッセージ
p.5; 卒業生メッセージ **今号からシリーズ化**
p.6; 新会員紹介 p.7; 新会員紹介 p.8; 事務局から



【実践報告】

中央学院大学中央高等学校における 商業教育の近況と今後の展望

中央学院大学中央高等学校
商業科主任 二関 竜司

1. 学校紹介

本校は明治33年(1900年)仏教学者高楠順次郎博士が欧米を視察し、教養の高い商業人の育成を目的として、建学の精神であります「誠実に謙虚に生きよ 温かい心で人に接し 奉仕と感謝の心を忘れるな 常に身をつつしみ反省と研鑽を忘れるな」の教えの下、校主に高楠順次郎、初代校長には南岩倉具威男爵の布陣で「日本橋簡易商業夜学校」として日本橋区蛸殻町(現、東京都中央区)に設立されました。その後、明治35年(1902年)中央区新川永代橋のたもと商船学校の移転跡地に移り「中央商業学校」となり、平成13年(2001年)に現在の江東区亀戸に移転しました。今年120周年を迎える長い歴史を持った学校であり、千葉県我孫子市に姉妹校である中央学院高等学校と中央学院大学の3つの学校を擁する学校法人中央学院として発展してまいりました。現在では、普通科も併設し、小規模な学校として生徒一人ひとりの個性や特性に応じた教育活動を行っています。

2. 本校の商業教育

120年に及ぶ歴史ある商業教育のバックボーンのもと、実社会で役立つ資格取得をサポートする授業体制を築いています。特に検定試験においては「簿記」「情報処理」「ビジネス文書」の3種の検定試験を中心に合格できるよう、習熟度別でクラス編成を行い、より上級の合格に向け指導しています。また、ICTを活用した先進的な教育環境づくりとして、タブレット端末を導入し、全教室に電子黒板も設置しております。「簿記」や「ビジネス基礎」の授業においてもタブレットを効果的に使用し、生徒の学習意欲の向上、情報活用能力などの育成に活用しています。

一方、実践教育としてインターンシップを実施しております。日本マクドナルド株式会社協力のもと、夏休み期間中に5日間の店舗実習と前後1日ずつ事前・事後学習の計7日間で実施しました。今年度は本来予定されていたオリンピックや新型コロナウイルス感染症の影響もあり、夏休みの実施はできていませんが、このインターンシップは実社会の経

験を通して望ましい勤労観や職業観を育成し、主体的に行動する力やコミュニケーション能力の育成



を図ることを目的として行っています。

3. これからの展望

本校商業科においては卒業後約90%が大学・専門学校への進学を目指し、そのうち50%~60%が4年制大学に進学することから、カリキュラムも進学対応を重視した内容としております。

中央学院大学への進学だけではなく、他大学への進学や、近年では英検の取得に励んで国際関係学部への進学を目指す生徒も増えてきていることから多様な進学に対応していかなくてはなりません。

都内において私立高校の商業科を設置している高等学校がなくなっていくなか、歴史ある商業教育の伝統を守っていくよう、教育活動に励んでいきたいと思っております。



【実践報告】

工作室で行う SNS コンテンツの計画・設計

～ネットワーク上での表現の特性を紙とペンで学ぶ～

府中市立府中第九中学校

技術・家庭科 指導教諭 山本 祐也



1 はじめに

令和3年度より全面実施となる学習指導要領では、中学校の技術・家庭科の技術分野において、生活や社会を支える情報の技術として、情報の表現の特性や技術に込められた問題解決の工夫について学習するよう定められている。しかし、学校現場では、アプリケーションを活用した教育活動のための環境が整っていない地域も多く、ICT 機器を用いない情報教育題材の必要性を実感している。

そこで、工作室で紙とペンで実施できる情報の授業を実践した。ICT 機器を用いないことで、SNS での書き込みや、閲覧、削除などの管理などが目に見え、実際の SNS の構造や仕組みが体験的に理解することができる。また、付箋紙を用いて削除することにより、デジタルタトゥーの認識なども学習することができる。

2 授業実践

(1) 単元名

D 情報の技術

生活や社会を支える情報の技術

※令和三年度より完全実施学習指導要領に準拠

(2) 単元の目標

SNS コンテンツの計画設計を通して、情報通信ネットワーク上での表現方法を理解するとともに、主体的対話的な学びの中で、著作権を含めた知的財産権、発信した情報に対する責任、及び社会における情報モラル、並びにサイバーセキュリティの重要性について理解し、正しく利用しようとする態度を養う。

(3) 本時の目標

○情報には、インターネット上に流出することで自身や他者の不利益となるものが含まれていることを理解する。

○他者だけでなく、自身も守るべき存在であり、お互いに配慮すべきことを考え、適切にインターネットを利用していこうという態度を養う。

(4) 授業の流れ

<導入>

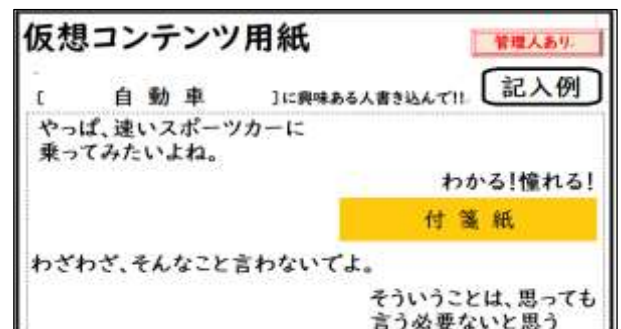
「SNS のコンテンツ」を確認する。

<展開 1 >

○興味のあることについて、仮想 SNS コンテンツ

を考え用紙に記入する。机上に置かれたそれぞれの仮想 SNS コンテンツ用紙に、自由に意見や感想を記入する。

○削除したい書き込みがあった場合は、付箋紙を貼ることで削除する。



<展開 2 >

○SNS コンテンツを制作または利用する上で、制作者や管理者または発信者（書き込み者）として配慮すべきことを話し合う。

○SNS コンテンツの利点と課題について、自分の考えを記入する。

○SNS コンテンツがより良いものとなるための改善方法を考え記入する。

○【私の SNS 宣言】を自身の言葉で記入する

<まとめ>

○インターネットを利用する際には、自身で配慮すべきことが多くあることについて理解する。また、同時に、自身の情報も適切に管理する必要があることも理解する。

3 授業の様子



4 授業実践上の注意すべき点

この授業を通して、嫌な思いをする生徒が出ないように、肖像権や著作権、また、周囲の人が書き込みを見ることなど配慮すべきことについて、十分な指導を行ったうえで授業を実践することが求められる。

在校生からのメッセージ INFINITY

東京都立荒川商業高等学校 3年
模擬株式会社レガロ工房社長 大塚 葉月

荒川商業高校には、高校生が自ら会社を運営する模擬株式会社「レガロ工房」があります。「レガロ工房」という社名は「心を込めた作品を贈りたい」「笑顔を届けたい」という思いから、イタリア語で贈り物を意味する『REGALO』という単語をもとに命名されました。

我が社は、「地域交流」「地域活性化」「社会貢献」を基本理念としている広告企画会社で、荒川区や商店街のイベントポスター制作やチラシ制作ロゴデザインを主に事業内容として活動しています。

今年2020年は、「西尾久の夏休み」「トリックオアトリート」チラシ・ポスター制作やイベントのお手伝いをしました。他には都



電のハロウィンポスター制作や飾り付けをしました。また、新しく農作業も始めてみました。まだ学校以外で売れるほどではないですが、地域の人と頑張っているんです。

私は2年生になってデザイン系列に入り模擬株式会社レガロ工房があることを知りました。

レガロ工房ではどんな仕事をしているのか気になり参加しました。2年生では、さまざまなイベントに参加しました。初めてイベントに参加した時はほぼなににもできなくて先輩達に迷惑をかけたのですが、参加していくうちに自ら行動できるようになりました。

3年生になりレガロ工房の社長になって頼られる側になり大変なこともありましたが、先生や社員の人々と日々勉強しながら頑張ってきました。

また、先輩から色々教えてもらったことをいかしてお仕事をしています。レガロ工房では普段できない経験がたくさんできます。そして自分のレベルアップもできて専門の知識が学べます。今後もっと模擬株式会社レガロ工房を知ってくれる人たちが増えたら嬉しいです！

在校生からのメッセージ INFINITY

武蔵野東高等専修学校
3年 万木 彬人

私は、この武蔵野東高等専修学校で専門コースでの知識や技術の向上と混合教育、バディについて多くのことを学びました。専門コースでの知識や技術の向上とは、検定取得や作品制作、また調理やスポーツなども学ぶことができます。私が所属している情報ビジネスコースでは主にエクセル、ワード、パワーポイントなどを駆使して複数の検定を受けることができます。一年生からパソコンを使い始めた私でも半年で三級の検定を取得することができました。情報ビジネスコースの授業ではキーボードの打ち方などの基礎から教えていただいたのでとても分かりやすかったです。他にもポスター制作、パワーポイントを使った商品紹介などもありました。今後は情報ビジネスコースで学んだことをさらに高めるために専門学校に入り、そこで将来の夢である経理の仕事に就くための勉強をしたいと思っています。

次に混合教育、バディについてです。混合教育とは、障がいのある生徒と健全な生徒と一緒に学校生活を送ることにより互いを尊重しあい様々なことを学んで成長すること

を目的としています。また、ここで重要とされているのがバディという存在です。バディとは健常児と自閉症児がペアになり学校生活の活動を一緒に取り組む相棒のような存在です。私にもM君というバディがいます。M君とは二年生のスポーツ大会から仲良くなってきました。スポーツ大会では、いくつかの競技を一緒に出場したり応援合戦もペアになってやりました。私自身とても楽しかったので強く記憶に残っています。また練習の時に、人に物事を教える難しさと教えることができた時の達成感などはとても良い思い出です。

最後になりますが、残りの半年という期間でも一緒に様々な経験や思い出を作ることができると私は思っています。今後もバディとして仲良く学校生活を送っていきたいです。



卒業生からのメッセージ BEYOND

東京都立葛飾商業高等学校 平成 25 年 3 月卒業
藤浪会計事務所

税理士 高橋 裕貴

私は、母校の都立葛飾商業高校からの求人で就職した会社を経て、会計事務所に転職し、現在は税理士として主に決算や申告、市街地再開発に関する会計や税務に関する業務を行っています。

私はもともと高校卒業後、進学するつもりはなく、商業高校は就職率が高かったことから、葛飾商業高校に入学しました。



1 年生の時の授業で将来の職業について考える授業があり、そこで税理士という職業を知り、税理士になりたいと思いました。

在学中、部活動は硬式野球部に入っており、勉強と部活の両立は難しいものでしたが、先生方のサポートのおかげで、日商簿記 2 級に

合格することができました。独学で不安が多かった中、先生方はとても心強い味方でした。

進路の先生方も税理士を目指していることを踏まえて、税務や会計に関する求人を紹介してくださりました。卒業後は働きながら試験を受け続け、無事税理士試験に合格することができました。

勉強と部活動を両立し、限られた時間の中で学習したことや、高校生活での様々な経験が、税理士になることができた要因だと感じています。

今の生徒は不安定な社会環境で大変だと思いますが、前向きに、目標の大小に関らず積極的に色々なことに挑戦してほしいと思います。

私もこれから納税者に信頼される立派な税理士になれるよう、日々研鑽を重ねたいと思います。

卒業生からのメッセージ BEYOND

東京都立科学技術高等学校 平成 31 年 3 月卒業
山形大学農学部 食料生命環境学科
アグリサイエンスコース 2 年 大口 莉奈

私の高校 3 年間はとても充実したものでした。特殊なカリキュラムの授業、実験や研究発表など忙しい毎日でしたが、普通の高校生が味わうことのできない体験ができました。

その一つが研究発表です。いろいろな研究発表会や学会に参加させてもらいました。研究発表では、同い年の人から感化されたり、たくさんの教授や他校の先生方に評価していただいたりしました。時には厳しいアドバイスもありましたが、研究の穴を埋めどんどんよりよいものにし良い評価をいただけたときはうれしく、研究を続けるよい励みになりました。

中でも、全国高校生理科研究発表会は私にとってとてもいい体験でした。全国から選ばれた研究はとても興味深いものが多く、勉強になりました。普通の高校ではなく、科学技術科だからこそ体験できたことだと思います。

私が、今の進路に進むきっかけになったのも研究発表会の場でした。もともと植物関係に興味があり、大学は植物関係に進学しようと思っていましたが、ある研究発表会で大学院生のポスター発表を聞いたとき食品関係に興味をわき自身の研究にしました。私の山形での生活はあの時に大学院生のポスター発表を聞かなければなかったことだと思います。

研究は私にとってとてもいろいろな知識と幅広い視野と科学のおもしろさを教えました。これからの大学生生活では専門も多くなり、卒業研究もあります。今まで学んだことをたくさん生かしていきたいです。



新会員の紹介

開倫塾 開倫塾日本語学校

〒326-8505 足利市堀込町 145
塾長 林 明夫
TEL : 0284-72-5945

〔組織概要〕開倫塾は1979年に栃木県足利市で創業、東京都墨田区・荒川区・葛飾区・足立区はじめ栃木県・群馬県・茨城県に校舎展開する本格的進学塾です。

2001年栃木県経営品質賞知事賞・2009年ハイサービス日本300選を受賞しました。

開倫塾では、「顧客」を「塾生」「保護者」「地域社会」と定義し、経営の基本理念を(1)「顧客本位」(2)「独自能力」(3)「社員重視」(4)「社会との調和」とし、「教え方日本一」の学習塾を目指しています。

毎年5月第3日曜日には、全国模擬授業大会を開催、全国の先生方と教え方向上に励んでいます。2018年に開倫塾日本語学校を開校。留学生だけでなく日本で学び働き生活する外国出身の方々の日本語教育にチャレンジ。アフリカはじめ世界各地での日本語教育を目指しています。

〔教育方針〕開倫塾の教育目標は「自己学習力の育成」「自ら進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」を身に

付け、「第一志望校合格」「学校成績大幅アップ」「3大検定合格」を実現します。

開倫塾の特徴は、学習の仕方を教えることです。学習を理解・定着・応用の3段階に分け、各々の段階での学習の具体的方法をわかりやすく示す「学習の3段階理論」を伝授します。辞書・新聞・読書を活用して「読解力の育成」も創業以来行っています。授業のある日、ない日も夕刻から夜10時まで自学自習を奨励。

開倫塾のミッションは自己学習能力の育成を図り、人生の成功；多様な選択肢のある人生を歩むこと、地域の教育力向上；正常に機能する社会の形成に貢献することです。

「人間の安全保障の推進」を設立の基本理念とする開倫ユネスコ協会は2021年1月で20周年を迎えます。毎年11月第3木曜の「ユネスコ世界哲学の日」には「価値・意味・秩序」をテーマに会合を開いております。

新会員校の紹介

学校法人日美学園 日本美容専門学校

〒169-0075 新宿区高田馬場1-21-12
理事長 網蔵 糸乃 校長 阿部 博人
TEL : 03-3200-0813 FAX : 03-3200-3040

本校は、全国的美容師が集まってできた組織「日本美容師会」を母体とし、1954年(昭和29年)に創立いたしました。当時、女性が仕事を持つことが珍しく、また美容師の社会的地位も低かった背景もあり、教育により美容師の社会的地位を向上させ、美容という業をもって時代を担う人材の育成を輩出したいという想いから、初代校長である奥野信太郎が「美容を通じて近代の叡智を築く」という建学の精神を掲げました。

66年を経て、今は美容師の育成をする専門科(昼間部・夜間部)、通信科(4月入学・10月入学)の他に、メイク・エステ・ネイルなど美容の技術を総合的に学ぶ総合美容科を設置しております。

いずれの学科も、基本的な技術と知識をしっかりと学ぶだけでなく、実践につながる実習や、応用技術に加え、バラエティに富んだカリキュラムを通して、単なる技術者ではない真の意味での「美の実践者」の育成に取り組んでいます。ま



た、学びのサポートはもちろんのこと、国家試験対策、就職支援、臨床心理士によるカウンセリングルームなど、より良い学生生活が送れるように環境を整えています。

さらに本校は、たくさんの卒業生によって支えられている学校でもあり、日本だけでなく海外にもいる卒業生の幅広い分野における活躍が、後輩たちの目標にもなっています。卒業生たちの活躍は、学生たちの良い起爆剤にもなっていて、また学生のフレッシュな感性を求めて母校に足を運ぶ卒業生も多く、とても良い交友関係を築かせてもらっています。



明るい校風の中で、一人ひとりの個性を伸ばす環境は創立以来続いております。様々な分野で時代をリードした人たちを輩出した適塾のように、時代を担う「美を創るプロ」を育成できるよう、志を高く持ちつつ自由な発想を活かす「美容界の適塾」として今後もあり続けたいと思います。

**学校法人小山学園
専門学校東京テクニカルカレッジ**

〒164-8787 中野区東中野 4-2-3
理事長 山本 匡 校長 白井 雅哲
TEL : 03-3360-8881 FAX : 03-3360-8820

当校、専門学校東京テクニカルカレッジは、新宿から 4 分の東中野の駅前に立地する建築系・IT 系・バイオ環境系に 9 学科を擁する工業系の専門学校です。学園理念に「技術者を目指す全ての人の夢を受け止め、高い技術力と豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献します。」を掲げ、日々職業教育に邁進しております。

全学科、職業実践専門課程に認定されており、特に「社会で活躍する力」を重視し、専門性を育てるために、全ての授業において学習目標を提示し、またその達成度の確認をおこなう「ステップクリア授業」と、技術者としての社会性を育む問題解決型授業「リアルジョブプロジェクト」に注力しています。

現代社会は、IT 分野の技術革新を中心に、どの分野も他領域を巻き込みながら、急速かつ複雑な発展が進んでいます。こうした社会変化に

おいても、問題を発見し、答えのない問題に取り組みながら、自らの専門性と社会性をもって問題解決できる人材を、今後も輩出していく所存です。これからも当校の教育にご期待とご協力をお寄せください。



新会員校の紹介

**学校法人後藤学園
武蔵野栄養専門学校**

〒171-0022 豊島区南池袋 3-12-5
理事長 後藤 人基 校長 久保 淳
TEL : 03-3982-6115 FAX : 03-5925-6750

1 学校の概要

本学は、昭和 45 年 4 月武蔵野栄養専門学校を設立、食と栄養に関する技術と知識の両面から「真のプロ」の育成に取り組み、以来 14,000 名を超える卒業生を輩出しています。平成 26 年度には文部科学省より職業実践専門課程に認定され、より一層実践的な職業教育の質の確保に取り組んでいます。



令和元年 10 月「高等教育の修学支援制度」において無償化の対象校に認定されました。

2 学校の特徴

(1) “大量調理実習”

本校の取り組みとして、学生が毎日クラス単位で学生、教職員 400 人の昼食を作るという、大量調理実習を行っています。

1 年生の後期 15 回、2 年生の前期 15 回と計 30 回の実習をおこなっています。他の学生と教職員はそこで作られた給食を毎日食することができ、食べる側にとってもありがたいシステムになっています。



(2) “2 年生選択コース”

2 年生の 2 時間、職業選択別に設定されています。

- ① クックトレーニングコース (事業所給食)
- ② 病院福祉コース
- ③ 保育学校給食コース
- ④ スポーツ栄養コース

(3) “優れたプロは優れた人格を持つ”

本学園のモットーです。豊富な実習授業を揃え、栄養士として「即戦力」となるよう、毎日取り組んでいます。就職率 100%の専門学校です。

i n f o r m a t i o n

令和2年度 第3回産学懇談会

産学懇談会は、会場校に集まり授業を見学し、その後産業教育について意見を交え交流を図るものです。産業界と学校との懇談という枠だけではなく、経験の浅い学校の先生にとっては、他校種を知る良い機会でもありました。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、第1回、第2回とも開催を中止いたしました。

第3回については中央工学校のご協力を得てオンラインにて11月27日(金)に開催することができました。中央工学校ホームページを会場校と仮想し事前閲覧をしたあと、Web 懇談を行いました。

実習とオンラインによる遠隔教育とをどうバランスをとっていくかなど産業教育について情報交換ができました。今後の新しい開催方式への大切な第一歩が踏み出せました。



令和2年度 作文コンクール

本会主催「作文コンクール」(東京商工会議所後援)応募へのご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染症拡大により学校が臨時休校となるなどの影響で応募数の減少が心配されましたが、高等学校においてはむしろ増加しており、本事業が定着していると感じています。

() 内は昨年度の実績です。

	応募校	応募数
中学校の部	16 (29)	108 (183)
高等学校の部	22 (16)	130 (105)
専修学校の部	1 (2)	1 (10)

第一次選考を経て第二次選考を、高等学校・専修学校の部(10月20日)、中学校の部(10月22日)に開催し、入選作品(最優秀賞、優秀賞、佳作)を決定しました。今年は表彰式を中止とし、賞状等は事務局から届けさせていただくことにしました。なお、入選作品は入選作品集「明日に生きる」に掲載し、会員の皆様に送付いたします。

令和2年度 東京都産業教育振興会教育功労者表彰

教育功労者表彰は多年にわたり、東京都の産業教育に従事かつ尽力され、多くの功績をあげられた方々を表彰するものです。

今年度は、高等学校・高等専門学校29名、中学校12名の方々が受賞されました。なお、表彰式は中止といたしました。

新会員の紹介

板橋区立桜川中学校	令和2年1月31日入会
株式会社 昭和製作所	令和2年3月12日入会
国際共立学園高等専修学校	令和2年10月6日入会
多摩市立鶴牧中学校	令和2年11月2日入会
東京学芸大学附属小金井中学校	令和2年11月4日入会

事務局より

令和2年度「会報」第159号をお届けいたします。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により表彰式中止など本会の事業も大きな影響を受けました。

会報は印刷部数をおさえ、電子データによる情報発信を強め、同時にニュース性のある情報を発信する会報・電子版を創刊しました。年2回発行する会報と適宜発行する会報・電子版の二本立てです。

また、会報159号から教育庁内で印刷することとしております。発行に際し、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

○会員の皆様からのご感想、ご意見などをお寄せください。

○会員の募集は随時行っております。

○都産振の事業等は、ホームページからもご覧になれます。

東京都産業教育振興会ホームページアドレス

<https://www.tosanshin.org/>

発行  東京都産業教育振興会

住所 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課内

電話 03-5320-6729 FAX 03-5388-1727

印刷 教育庁サポートオフィス  教育庁サポートオフィス
パレット